

◎教職員の働き方改革における令和6年度実績について

教職員が健康に笑顔で働き続けるために、質の高い教育活動を目指すことを目的として令和4年3月に「教職員の働き方改革の方針（よこすかスクールスマイルプラン）」を策定し、取り組みを進めています。

今回同プランにおける令和6年度の目標指標の達成状況及び令和7年1月に実施した「教職員の働き方改革等に関するアンケート調査」の集計結果をとりまとめましたので、報告します。

1 プランにおける目標指標の達成状況について【別冊1】

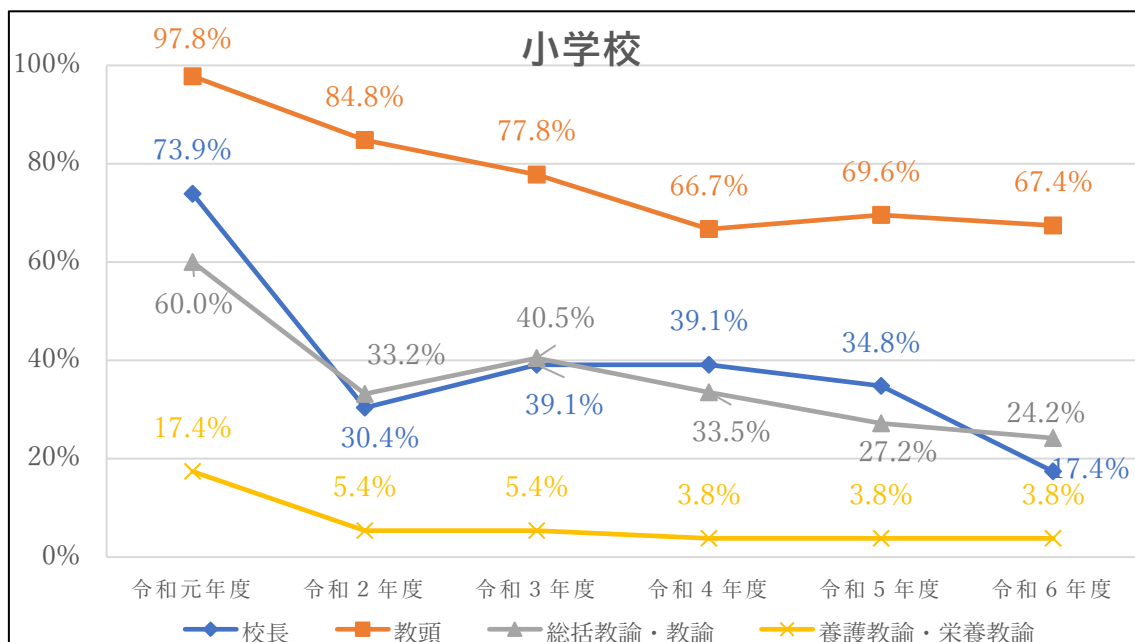
(1) 目標指標

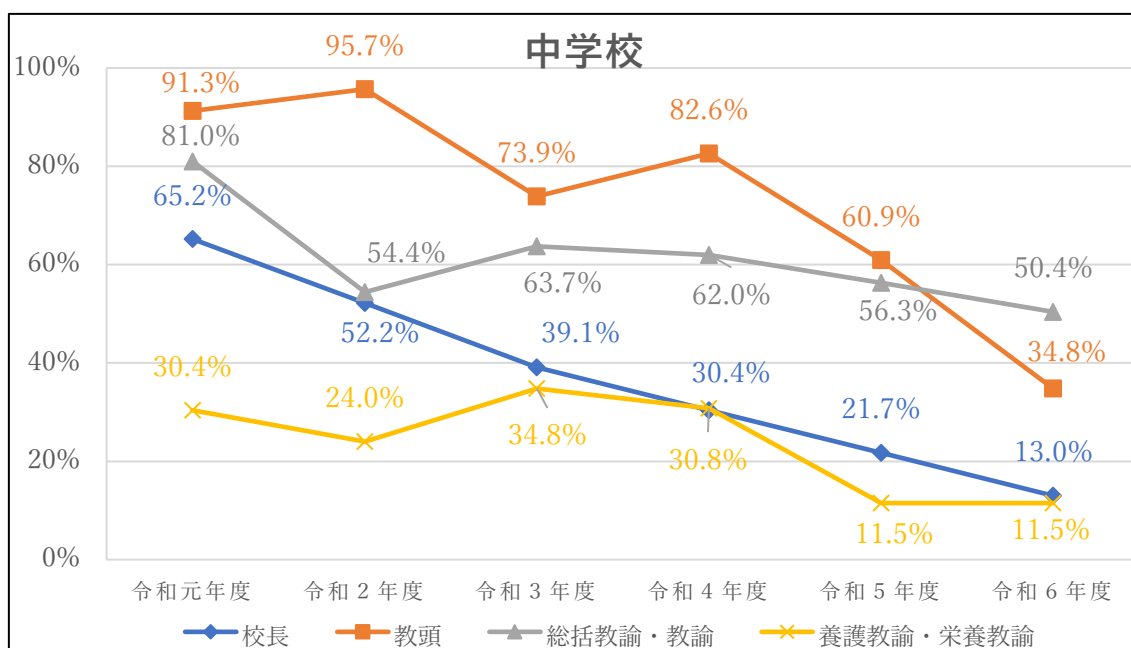
- ①時間外在校等時間が、原則、月45時間、年360時間以内となっている。
- ②年次休暇取得日数が、全員年間15日以上となっている。
- ③ストレスチェックにおける「健康リスク」の各項目の結果が、市立学校全校でいずれも標準値（100）を下回っている。
- ④アンケート調査における質問項目「子どもと向き合う時間が確保されている」及び「自己研鑽の時間が確保されている」に対し、肯定的な回答をした市立学校教職員の割合が80%以上になっている。

(2) 調査結果（一部抜粋）

<時間外在校等時間が月45時間を超えた横須賀市立教育職員の割合>

※毎月11月の1か月間の記録





＜年次休暇を年間15日以上取得した割合＞

	校 長				副校長・教頭			
	R 6	R 5	R 4	R 3	R 6	R 5	R 4	R 3
小学校	38.9%	29.7%	19.4%	17.1%	20.5%	19.6%	8.7%	13.0%
中学校	20.0%	10.5%	5.3%	10.5%	8.7%	8.7%	4.3%	4.3%
全体	31.6%	22.4%	14.0%	14.5%	16.7%	16.7%	6.8%	9.5%

＜健康リスクの各項目の結果（学校ごとの平均）が標準値（100）※を下回っている学校の割合＞

	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2
総合健康リスク	89.0%	78.0%	79.5%	88.7%	94.3%
健康リスク（A） （仕事の量的負担と仕事のコントロール度）	2.7%	5.4%	2.7%	5.6%	4.2%
健康リスク（B） （上司の支援と同僚の支援）	95.9%	95.9%	100.0%	100.0%	95.8%

※標準値は厚生労働省が示す基準値のことをいいます。

＜「子どもと向き合う時間が確保されている」の回答状況＞

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	全 体
そう思う	10.9%	13.8%	4.2%	30.4%	12.4%
どちらかというと思う	33.6%	28.4%	43.8%	37.0%	32.1%
どちらともいえない	24.9%	27.0%	20.8%	13.0%	25.2%
どちらかというと思わない	19.7%	21.5%	16.7%	10.9%	20.0%
そう思わない	11.0%	9.3%	14.6%	8.7%	10.4%
肯定的な回答の割合	44.5%	42.2%	47.9%	67.4%	44.5%

＜「自己研鑽の時間が確保されている」の回答状況＞

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	全 体
そう思う	4.9%	6.4%	4.2%	8.7%	5.5%
どちらかというと思う	22.5%	14.4%	33.3%	13.0%	19.5%
どちらともいえない	23.7%	28.1%	31.3%	30.4%	25.8%
どちらかというと思わない	32.4%	31.0%	25.0%	30.4%	31.5%
そう思わない	16.6%	20.2%	6.3%	17.4%	17.6%
肯定的な回答の割合	27.4%	20.8%	37.5%	21.7%	25.0%

2 教職員の働き方改革等に関するアンケート集計結果（令和6年度実施）

【別冊2】

（1）調査対象

市立学校（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）の教育職員（校長・園長、副校長・教頭、総括教諭、総括養護教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、F L T、拠点校指導教員、実習助手）

（2）調査期間 令和7年1月6日～2月7日

（3）回答方法 「Google form」の利用による回答

（4）回答状況

校種	回答数	対象数	回答率
小学校	819人	1,067人	76.8%
中学校	549人	653人	84.1%
高等学校	48人	91人	52.7%
特別支援学校	46人	69人	66.7%
合計	1,462人	1,880人	77.8%